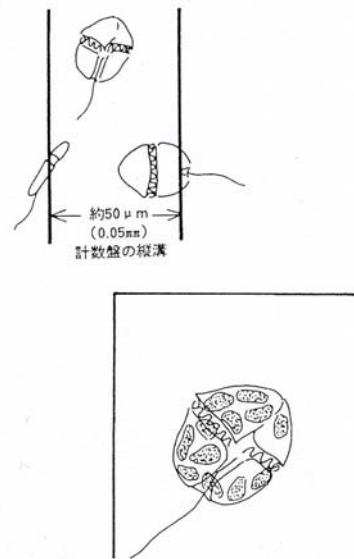
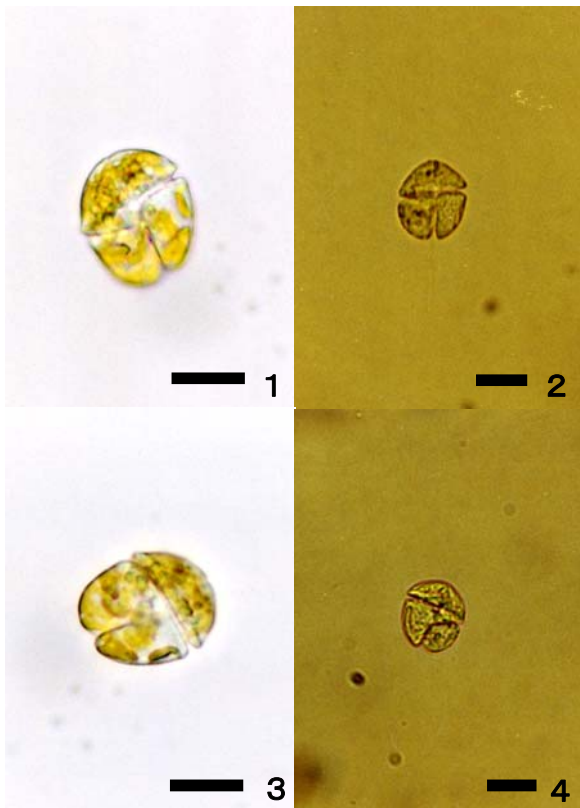


## 6 カーレニア ミキモトイ (=ギムノディニウム ミキモトイ) 【最重要種】

*Karenia mikimotoi* (= *Gymnodinium mikimotoi*) (渦鞭毛藻)



1. 2. 腹側から見た細胞  
3. 4. 背側から見た細胞

スケールバー 20 μm (0.02mm)

### 特記事項

ギムノディニウム ミキモトイ、ギムノディニウム ナガサキエンセ、あるいは65年型種と呼ばれていたが、平成12年に属の再編が行われ、ギムノディニウム ナガサキエンセは新しい属名カーレニアに移され、カーレニア ミキモトイとの種名が提唱され、広く受け入れられた。数千 cells/mLになると魚介類の斃死を起こす恐れがある。500 cells/mL以上で餌止めが望まれる。ハマチの他マダイなどの魚類、アワビ、真珠貝などの貝類の斃死も発生する。中層域(5~10m層)で増加し、突然表層に現れ赤潮となるため、中層の監視も欠かせない。

### 形態および泳ぎの特徴

体長と体幅がほぼ同じで、扁平である。体を一周する横溝と体の後半部に縦に走る縦溝がある。ひらひら回転し、活発に泳ぐ。体長20~40 μm。黄褐色。

### 類似種との区分

形態の類似した種で赤潮を形成するものはない。

### 出現期、水温、水域

主に7~8月、11~28°C、県下全域

### 赤潮、被害事例

赤潮：50、54、57、60、61、62、63、平成3、4、5、6、7、8、9、12、13、16年

被害：昭和57年(備讃瀬戸)、平成7、8年(播磨灘)

県外の被害事例：昭和40年(長崎県大村湾)、昭和55、57年(熊野灘)。その他愛媛宇和海および高知県でしばしば被害発生。